



タンポポだより

2019年 12月 376号

西脇市地域活動支援センター
ワークホーム タンポポ
〒677-0025 兵庫県西脇市大野 175
TEL&FAX 0795 (22) 8149
http://www.eonet.ne.jp/~whtanpopo/index.html
E-mail whtanpopo@zeus.eonet.ne.jp

師走を迎え、なにかと気ぜわしい毎日ですが、タンポポでも12月はいつもの行事予定のほかに、大橋ラーメンさんにご招待していただいたり、クリスマス会があったりと楽しみな行事がいろいろあって、利用者さんは大忙しです。でも、とても楽しみにされています。予定がいっぱいあるのはうれしいですね。それも地域の皆様やボランティアの皆様にご支援いただいているおかげだと感謝しています。そして、来年もみんなが笑顔で過ごせるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

12月の予定



- 4日(水).....大橋ラーメンさんよりご招待
- 4日(水).....クリスマス会
- 5日(木).....運営委員会
- 6日、13日、27日(金)・音楽療法
- 9日(月).....習字
- 18日(水).....お茶
- 20日(金).....お誕生会・調理実習
- 28日(土)~1/4日(土).....冬休み

* * * * *

お礼

11月3日(日) 都麻の里さわやか交流祭
11月23日(土) いきいきふれ愛まつり
クッキー等の販売をさせていただきました。
ありがとうございました。

モーニング「にこっと」 11月15日(金)

「にこっと」へモーニングを食べに行きまして来ました。着いたらすぐに予約していたオープンサンドが運ばれてきました。チーズがトロトロでとてもおいしく、みんなうれしそうでした。パクパクとあつという間に平らげて、他の人の分までねらっている人もいました。初めてのモーニングなので、朝ごはんはどうしよう...お昼のお弁当はどうしよう...と悩みましたが、いつもよりは少し少なめのお弁当を持ってきてしっかり食べてしまいました。とても満足した一日でした。



* * * * *

研修会『援助者としての支援技術の向上』

～地域生活支援拠点の整備を見据えて
虐待防止の観点から支援を考える～

社会福祉法人 あかりの家
地域支援センター あいあむ センター長 濱口直哉さん

以前長島愛生園で働いておられた濱口さんは元ハンセン病患者さんのお茶が飲めなかったそうです。「知らないことが一番恐ろしい」人を支援するには「正しく知ること」が大切であると言われていました。不適切な関わりを見逃すと、知らず知らずに重大事件へと発展します。不適切な関わりを摘むことが虐待防止の第一歩となります。

不適切な関わり(力で抑える、言葉であたる、暴力、いやがらせ、腹いせ、無視など)が起こる背景は、①人の心に潜む影。差別意識、優越感、上下関係、親子関係、無知(それが虐待と分からない。支援の方法が分からない)、ついカッとなって、ついイライラして←不適切な関わり ②職員の資質と働く環境。支援技術・プロ意識。ストレスフルな職場(不規則勤務、労働条件、人手不足、心に余裕がない、プレッシャー、一人で抱え込みやすい)←不適切な関わり ③世間の目・上司の目・同僚の目。うまくいかないイライラ、心の余裕のなさ、焦り、怒り、自分の力量を問われる←不適切な関わり

では、どうすればいいのでしょうか?手をだすのではなく、SOSをだしましょう。大切なのは支援の方法探し。

☆地域生活支援拠点の整備から支援を考える

☆私たちにできること ①自分自身の支援(関わり)や性格を知る ②相手の考え方・行動を知る⇒見方を変える ③コミュニケーションのズレを知る ④自分を守る手立てを知る ⑤事業所で出来ることを知る ⑥ご本人の“こうありたい暮らし”を知る

正しく知って、障がいのある方が世間の無理解に押しつぶされないように、支援者もベストの状態でもみんなで考え寄り添っていかれたらと思います。